春日野部屋の力士と触れ合う

春日野部屋夏合宿ｉｎ久慈　6月12日～17日

1／朝稽古を終えた力士たち　2／白銀のひかりを受け取る二十山親方（中央）と栃大海関　3／市長表敬訪問のため久慈市役所に来庁　4／みんなで力を合わせて力士に挑む門前保育園の園児たち

大相撲春日野部屋の合宿が長内町平沢地区で開催されました。久慈市での夏合宿は13回目。無料公開された朝稽古には大勢の市民らが訪れ、汗を流し激しくぶつかり合う力士たちの姿に見入りました。

力士らは稽古の合間に、学校や福祉施設などを訪問し、地域住民との交流を深めました。12日には、いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会と岩手県白銀のひかり栽培研究会が、来場所での活躍を期待し春日野部屋に「白銀のひかり」100㌔を贈呈。二十山親方は「たくさんのお客さんに見てもらい、緊張感を持って稽古ができています。名古屋場所に向けて体力をつけ、良い合宿だったと思えるように取り組んでいきたいです」と意気込みを語りました。

五穀豊穣を祈願

無形民俗文化財「枝成沢虫まつり」　6月7日

笛や太鼓のお囃子を奏でながら歩く参加者

虫まつりが中央市民センター枝成沢分館で開催され、約50人が参加しました。参加者はわら人形を担ぎながら歩き、五穀豊穣や無病息災を祈願。久慈高校１年の大鹿糠匠さんは「友人の誘いがきっかけで、４年前から毎年参加しています。来年も参加したいです」と語りました。

アレンさんの命日を偲ぶ

久慈幼稚園アレンイベント　6月５日

選んだ色を手に塗ってもらう園児

市名誉市民のタマシン・アレンさんの命日に合わせて久慈幼稚園でイベントを開催。園児たちは、アレンさんの似顔絵の周りに手形で花を描き、１枚の作品を完成させました。中村翠（あき）さんは「好きな紫色で手形を押しました。午後のおやつのクッキーが楽しみです」と話しました。

素潜り実演がスタート

北限の海女素潜り実演　7月１日～

両手いっぱいのウニを披露する海女

北限の海女の素潜り実演が始まりました。１日は安全祈願祭を行った後、新人１人を含む４人の海女が海に潜り、両手いっぱいのウニを披露。山口県から訪れた池本雅一（まさかず）さんは「あまちゃんで見た景色が広がっていて感動しました。ウニは上質でおいしいです」と話しました。

久慈川の河口周辺を清掃

くじ･川の会　河川清掃　6月13日

河口付近で流れ着いたごみを拾う参加者ら

マイクロプラスチック問題の啓発を兼ねて、くじ・川の会が例年実施している河川清掃。この日は、会員と市民ら 19 人が参加して、久慈川河口周辺でごみ拾いを行い、約 1 時間の活動でプラスチックごみや空き缶など、燃えるごみ 20 袋・燃えないごみ 10 袋を回収しました。

広報担当やリポーターが、皆さんのところにおじゃまします。
地域の行事など、身近な情報をお寄せください。
㊐地域づくり振興課　広報くじ担当　☎52-2116　FAX52-3653

梅沢　政隆
リポーター

大久保勝男
リポーター

大石　純夫
リポーター

草取り奉仕活動を実施

小久慈市民センターの環境美化　6月２日

駐車場付近の草取りを行う参加者

ピンポングループ夢の会と老人クラブ柏琥珀会の会員20人が合同で小久慈市民センターの草取り作業を行いました。参加者らは、手際よい作業で敷地内に生い茂った雑草を除去し、同センターを訪れる利用者が気持ちよく利用できる環境を整えました。（大久保）

ごみの不法投棄撲滅を目指す

環境パトロール員委嘱状交付式　6月４日

代表して委嘱状を受け取る林下孝弘さん

ごみの不法投棄撲滅を目指し各地区で監視パトロールを行う環境パトロール員の委嘱状交付式が開催されました。今回委嘱されたのは10人で、任期は11月30日まで。代表して林下孝弘さんが「不法投棄撲滅のため、日々のパトロール活動に尽力します」と決意表明をしました。

同世代の新卒者と交流を深める

フレッシャーズ・カフェ　6月30日

講座で学んだ名刺交換を実践する参加者

県北広域振興局が市総合福祉センターでフレッシャーズ・カフェ2026を開催。県北地区の事業所に就職した新卒者71人が参加し、仕事に必要なコミュニケーションを学びながら交流しました。和野虎牙（こうが）さんは「仕事で問題が発生した時に、今日の学びを生かします」と話しました。

沿道を華やかに

中心市街地景観整備事業　6月10日

植栽作業を行う久慈翔北高校の生徒

エリカシーランドくじ推進協議会が実施するプランターへの花苗植栽活動に、久慈翔北高校の環境緑化系列の３年生12人が参加しました。生徒らは、同校で育てた花苗約500株をプランターに植栽。横澤田真衣（よこさわだまい）さんは「花で街の雰囲気が明るくなれば嬉しいです」と話しました。

大槌町の被災地を支援

平山小学校募金活動　6月９日

集まった義援金を市社会福祉協議会の職員に手渡す児童

大槌町で発生した山林火災の被災地を支援しようと平山小学校の５・６年生が中心となって募金活動を開始。全校児童30人で同校運動会の来場者に協力を呼びかけました。児童たちは、募金活動を通してみんなで協力すれば大きな力になることを学び、実感しました。（梅沢）

訓練の成果を競う

久慈市消防団操法競技会　5月31日

標的に向かって放水する消防団員

各分団から15チーム約100人が参加し、ポンプ車の部と小型ポンプの部に分かれて競技を実施。ホースをつなぎ、火点を模した標的に放水するまでの速さや正確さを競いました。各種目３位までに入賞した分団は洋野町で開催される久慈地区支部消防操法競技会に出場します。